

発行 片瀬地区自治連
発行人 畠山 義昭
事務局 片瀬市民センター内
電話 0466 - 27 - 2711

かたせ

自治連だより

片瀬地区自治会・町内会一覧

新屋敷ブロック

1. 片瀬弥生会(440)
2. 新屋敷親睦会(366)
3. 新屋敷第一町内会(506)
4. 三部会(99)
5. 新屋敷第二町内会(640)

西ブロック

15. 西方町内会(418)
16. 西の原会(232)
17. 御行町内会(431)
18. 西浜町内会(860)

五町ブロック

19. 下の谷本町町内会 (185)
20. 竜の口町内会(309)
21. スパナ通り町内会(610)
22. 片瀬海岸二丁目町内会 (570)
23. 湘南グリーンハイツ自治会(105)

片瀬山ブロック

6. 片瀬山一丁目自治会(283)
7. 片瀬山二丁目自治会(244)
8. 片瀬山三丁目自治会(472)
9. 片瀬山四丁目自治会(287)
10. 片瀬山五丁目自治会 (286)

東ブロック

11. 東り町東会(260)
12. 片瀬目白山町内会(92)
13. 片瀬中央平和会(76)
14. 片瀬三和会(240)

江の島ブロック

24. 江の島東町町内会(97)
25. 江の島西町町内会(51)
26. 江の島弁天会(33)

※カッコ内は世帯数

平成28年度 自治連総会 結果報告

平成28年5月17日(火)に開催された平成28年度総会では、平成27年度の事業報告及び収支決算報告、平成28年度事業計画及び収支予算などが審議され、すべて承認されました。

片瀬地区の26自治町内会の会長で組織する団体として、各自治町内会での取り組みや各地域団体活動の情報共有、自治町内会における共通の課題に関する意見交換、自治町内会相互の交流など、定例会や行事の実施を通じて連携を深めていくことを確認しました。今後も、より活発な自治町内会活動につなげていく取り組みを進めてまいります。

◆今年度の自治連役員 <ブロック代表者>

会長	畠山 義昭	【江の島ブロック】
副会長	甘粕 寿一	【五町ブロック】
副会長	中島 尚之	【東ブロック】
会計	福永 義臣	【新屋敷ブロック】
監事	馬場 英人	【西ブロック】
監事	石野 恵二郎	【片瀬山ブロック】



自治連への想い

片瀬地区自治町内会連絡協議会

会長 畠山 義昭



自治連会長をお引き受けております。お互いの情報として瞬く間に過ぎた二年で、交換することにより、地すが、この間、自治町内会域の課題へ向けてより速い対応を取ることであります。次に、自治町内会同士の想いを強くしました。まず、地域の様々な団体との連携の大切さを実感しとが必要と感じています。

これについても情報交換が何より大切で、自治連定例会での率直な意見、提案が望まれます。この地域は三大祭(江の島天王祭、諏訪神社例大祭、龍口寺法難会)の他、「片瀬」の名の付いた伝統的な事柄が残っています。このように地域文化遺産を大切にし、継承していくことの責任を強く感じます。

祭りに参加することで、町内会に興味を持つ方も多くなります。四年後には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに向けて、外国人観光客も含めた防犯・防災対策が求められます。自治連としてもこのことを見据え、側面から協力していきたいと考えています。

「参加いと聞いています。『参加しやすさ』を図り、地域のつながりの一つの手段として考えていきたいと思っています。」

片瀬地区 自治会・町内会長一覧

私たちと共により良い片瀬地区をつくっていきましょう

 1. 片瀬弥生会 田中 誠治	 2. 新屋敷親睦会 小澤 知之	 3. 新屋敷第一町内会 福永 義臣	 4. 三部会 原田 等	 5. 新屋敷第二町内会 鈴木 薫	 6. 片瀬山一丁目自治会 菊池 世紀	 7. 片瀬山二丁目自治会 宇津木 順	 8. 片瀬山三丁目自治会 石野 恵二郎	 9. 片瀬山四丁目自治会 尾崎 陸男
 10. 片瀬山五丁目自治会 和田 清栄	 11. 東り町東会 中尾 克太	 12. 片瀬目白山町内会 甘粕 和子	 13. 片瀬中央平和会 佐藤 妙子	 14. 片瀬三和会 中島 尚之	 15. 西方町内会 大山 義弥	 16. 西の原会 甘粕 克己	 17. 御行町内会 長谷川 紀夫	
 18. 西浜町内会 馬場 英人	 19. 下の谷本町町内会 阪井 三佐男	 20. 竜の口町内会 甘粕 寿一	 21. スパナ通り町内会 依藤 光雄	 22. 片瀬海岸二丁目町内会 田村 順子	 23. 湘南グリーンハイツ自治会 渡辺 武	 24. 江の島東町町内会 畠山 義昭	 25. 江の島西町町内会 秋岡 伸一	 26. 江の島弁天会 徳江 久次

自治会・町内会紹介(8)

⑧片瀬山三丁目自治会

災害に備えた共助の取り組み

片瀬地区自治会・町内会の内、片瀬山ブロックは片瀬山一丁目から五丁目まで五つの自治会（総世帯数一五八〇）で構成されています。そのうち片瀬山三丁目自治会は、総世帯数約四七〇と片瀬山ブロックの中では最大、片瀬地区の自治会・町内会の中では六番目に大きな組織となっています。

災害時の大きな課題として、高齢化の進展があります。片瀬山三丁目も人口の六十五歳以上の比率が四一・〇四％と非常に高くなっており、災害が発生した際に支援が必要となる人が増える一方で、安否確認や救助活動に参加できる人が限られてきています。その問題を解決するための取り組みとして、片瀬山ブロックでは

自治会毎に「近隣ネット」の規約を制定しました。

「近隣ネット」は、いざ災害が発生した際、近隣で助け合えるようにすること（共助）を目的としています。積極的に安否確認・救助活動へ参加できる人には、あらかじめ防災ボランティア（Ⅱ「近隣ネッティリーダー」）として登録し

てもらい、災害発生時には、被災状況と要支援者の状況確認、支援物資の管理・配布、各班の防犯パトロールなど



を実施するものです。

「近隣ネット」では、転入時および2年に1回アンケート調査を実施し、要支援者と支援可能なリーダーの状況把握、連絡先（親戚等）の情報を収集しています。アンケート調査の結果をもとに、自治会全域の「要支援者＆近隣ネッティリーダー状況図」および班毎の「共助力マップ」を作成し、年2回の安否確認訓練を実施しています。

また、自治会で実施している夏の「夕涼み会」では、防災意識の向上を図るため、防災機器や保存食の展示、車椅子や消火器の操作体験などをおこなっています。片瀬地域包括支援センターによる介助心得・いきいき体操、その他マッサージの無料施術なども行い、シニア・要介助者にとっても優しい「夕涼み会」を心掛け、要支援者と防災ボランティアが日常から交流する場にもなっています。

より良い地域にするために

～自治町内会への期待～

自治町内会の皆様には、日頃より片瀬地区の安全安心や住民福祉の向上・充実等のためにご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

地域には防災、交通安全の推進、青少年の育成、高齢化の進捗に伴う支援・見守り等々、本当に多くの課題があり、自治町内会の皆様に様々なことを担っていただいております。

例えば、防犯活動では、各自治町内会の防犯部長で構成する片瀬地区防犯協会が中心となって、地域に精通した各自治町内会のパトロール隊と警察や市民センターと連携することで、防犯に関する極め細かな啓発や犯罪発生抑止等の活動を進めていただいております。

特に片瀬地区においては、防犯協会、青少年支援フォーラム、青少年育成協力会の3団体が連携し、昨年从不審者情報ネットワーク「かけつけネットかたせ」がスタートしました。

従来、住民の皆様から通報があった不審者情報は、警察の確認が取れた後に地域で共有するというルールになっていましたが、「かけつけネットかたせ」では、警察の確認が取れる前にいち早く地域で共有し、パトロールや児童の見守り活動へ反映するという仕組みになっています。

私自身、自治町内会の役員を経験する中で、自治町内会活動を軸として培った地域コミュニティの力の結集が、地域課題の解決に役立ち、住民の方の生活向上につながっていると実感しています。

より多くの自治町内会員の皆様に、地域の活動にご参加いただき、顔がわかる信頼関係を構築する機会を作っていくため、市民センターとしても支援してまいります。

片瀬地区をより良い地域とするために今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

(記 片瀬市民センター長 金子 隆)

かたせNOW

片瀬における地域包括支援センター

現在市内13地区の中で、高齢化率第2位という片瀬江の島地区。昔のことをご存知の方が多いことは地域にとってありがたいことですが、高齢化に伴う様々なことは、私たちにとっても、日々決して他人事とは思えない問題であります。片瀬しおさい荘内にある「片瀬地域包括支援センター」（以下、「包括」とします）の長沼センター長、看護師の廣野さんのお二人に、この地区をどのようにとらえていらっしゃるかなど、地区の自治町内会と関連付けたお話を伺いました。



地域の高齢者の方々を見守る
片瀬地域包括支援センターの皆様

「包括」は平成18年4月に開設された高齢者の相談窓口です。市内16カ所にあり、公的サービスその他地域の資源を活用して、「その人らしい暮らし方」を応援しています。発足当初は手探りであったものの、徐々に地域の状況、地域のニーズに即した対応ができるように努力しております。

全国的に高齢者のひとり暮らしが増加する一方で、ひとり暮らしを続けられなくなる方もいらっしゃいます。目標や役割を見失ってしまい、地域との関係が少なくなり、閉じこもりがちになることも原因の一つと考えます。地域とのかかわりを持つことはいくつになっても大切なこと。地域とのかかわりがあれば、ひとりで暮らしていても何か異変があったときに早く気付いてもらえます。

片瀬地区は自治会加入率が非常に高く、高齢化に関してもそれぞれの自治町内会でいろいろな取り組みをしておられます。ご近所の情報は大切です。包括は、自治町内会との連携を密にしながら、ご高齢の方々の暮らしをより良いものにするお手伝いをと考えています。

包括への相談は月に300件ほどありますが、困り、お悩みになった末でのご相談が多々あります。包括はご相談を受け、公的支援が必要な場合には速やかに行政につなげてまいります。自治町内会の中へ包括を浸透させていただくために、町内会単位の集まりなどへもお邪魔し、お話をさせていただきたいと思っております。是非お声掛けください。

空き家問題(その後)

自治町内会からも発議された空き家問題。藤沢市は4月より空き家の状況を把握し、適正な管理の促進と、利活用の推進を促す新たな取り組みを始めました。

そして空き家に関する相談や困ったことについては、住宅課が窓口となり、空き家対策担当がその解決に乗り出しています。

放置された空き家には、相続や税金など所有者の個々の問題も絡んでいますが、地域にとっては治安への不安や環境の悪化を招き、地域全体を衰退に導きます。ご近所とのふれあいを通じ町内会の地域の力で、市政とも連携し、特定空き家を未然に防止し、利活用に繋がるよう対処していきたいものです。

【自治連だより編集委員】

甘粕 寿一 (五町)
石野 恵二郎 (片瀬山)
岡田 昇 (新屋敷)
鈴木 みどり (新屋敷)
中島 尚之 (東)
畠山 義昭 (江の島)
馬場 英人 (西)
福島 規恵 (五町)
福永 義臣 (新屋敷)
若林 直美 (東)
渡辺 武 (五町)

※氏名は五十音順